

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	佐賀県、伊万里市	地域再生計画名	「いまり」の多様な地域づくりのための道づくり計画
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	伊万里市役所 建設農林水産部 道路河川課		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標 総数	達成 数		
①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標 1	林業の振興と森林整備の促進	74ha	H25	80ha	H29	100.58ha	100ha	R3	91.81ha	×	林道整備により森林へのアクセスが容易になったことから森林整備の促進が図れたが、林道整備実績の遅れにより、最終目標値を達成することが出来なかったため、更なる林道整備の推進を図りたい。 林道整備の効果として、適切な森林施業の実施が可能となり、最終目標値を達成することが出来た。 新型コロナウイルスの感染拡大により行動制限等の影響を受けて令和2年度から交流人口が大幅に減少し、最終目標値に到達することが出来なかった。今後は、感染対策の緩和に合わせて、福岡都市圏からの集客に向けてPR事業を強化し、再度交流人口の増加につなげていく。 目標値を概ね達成することが出来たが、対策が必要な施設はまだあり、今後も引き続き対策を講じていきたい。	
	指標 2	地域産材活用の促進	2,000㎡	H26	2,400㎡	H29	2,479㎡	3,000㎡	R3	3,155㎡	○		
	指標 3	交流人口の増加	1,243千人	H25	1,650千人	H29	1,350千人	1,765千人	R3	904.7千人	×		
	指標 4	道路施設の安全確保	88.5%	H27	89.6%	H29	89.9%	91.4%	R3	91.9%	○		
②地域再生計画に記載した 数値目標以外の波及効果の 実現状況	指標 1												
	指標 2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (H29)	最終実績								
特別措置を適用して行う 事業	林道整備事業		4.350km	1.444km	3.848km	今回の林道整備により、路網の整備が遅れている地域に事業が実施されたことにより、森林へのアクセスが容易になり、今後、間伐等の森林施業が適切に実施することが可能となったと考える。林道整備箇所先線において、未間伐地域が存在するため、引き続き事業実施を行いたい。							
	市町村道の整備		1.640km	0.480km	1.075km	今回の市道整備により、観光農園等へのアクセスが容易になったことによる交流人口の増加や木質資材等の物流における生産性の向上に寄与することが出来たが、全ての路線を整備することが出来ていないことから、引き続き市道整備を進めていきたい。							
その他の事業	伊万里産木材利用促進事業	森林所有者を対象に森林整備等により発生する間伐材等の搬出にかかる経費の補助を実施。					経費の補助を実施することにより、森林整備の促進、林業経営の安定化につなげることが出来た。						
	グリーン・ツーリズム推進事業	都市住民と農山漁村との交流を図る伊万里グリーン・ツーリズム推進協会に経費の補助を実施。					新型コロナウイルス感染症の影響により計画事業の実施ができなかったため、今後は、都市住民と農山漁村との交流促進に向けた事業を推進していきたい。						
	地域の元気推進事業	市内13地区に交付金を交付し、地域の魅力向上に寄与する事業の支援を実施。					各地域の魅力向上により、交流人口の増加に結びついた。また、令和元年度より、住み慣れた地域を未来に向けて維持していくために、地域の元気推進事業の対象事業を広げるとともに交付金額を拡充し、新たに地域づくり推進事業を展開している。このことにより、各地域のまちづくり活動が活性化し、より一層交流人口の増加が図られた。						
	橋梁長寿命化修繕事業（橋梁管理事業）	市道の橋梁の長寿命化計画を策定し、計画的に橋りょうの補修等を実施。					老朽化した橋梁の長寿命化を行い、予算の平準化や費用の軽減を図れたため、効率的に対策を講じることが出来たとともに、道路施設の安全確保につなげることが出来た。						
	交通安全施設整備事業（一種、二種）	市道の白線、カーブミラー及びガードレール等の整備・補修を実施。					交通安全施設の整備を行ったことから、交通の安全性が上昇し、観光及び林業に対してプラスの効果をもたらすことが期待される。						
計画外で独自に実施した 事業													
④評価方法	事後評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。												
⑤事後評価の公表方法	伊万里市のホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価	③事業の進捗状況について、道整備交付金を活用し、林道整備および市道整備を一体的に実施したが、資材等の高騰もあり、計画値まで到達することは出来なかった。一方で、①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況（指標）においては、新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限の影響を受け、到達できていない目標もあるが、伊万里産木材の生産量の増加や道路施設の健全度の向上を図ることが出来たため、一定の効果を生むことが出来たと考えている。特に、伊万里産木材の生産量の増加については基準値から大幅に増加させることが出来たことから、林道整備事業や伊万里産木材利用促進事業の効果が非常にあったものと考えており、今後も継続して事業を進めていきたい。												
⑦今後の方針等	林道整備および市道整備ともに計画値まで到達できていないことから今後も引き続き事業を進めるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により国産材の価格が高騰しているため、伊万里市内における森林整備が加速することが予測されることから、木材搬出の基盤となる林道等の整備が急務であると考えている。その他にも、人口減少や高齢化、公共インフラの老朽化など時々刻々と変化する社会情勢に応じたきめ細かな施策を展開していく。												